北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　№２８６

令和５年１２月１８日

「 時はこえずに時代をこえて～２年修学旅行編①～ 」

校長　江　口　　満

奈良公園

「校長先生、毎年、修学旅行に行かれて大変ですね。」と問われることがある。毎年生徒を引率する私に、心配して声をかけてくださっているのだろうが、この「大変ですね」という言葉には何が隠されているのだろうか。わたしの体力を心配してくださっているのか。それとも毎年ほぼ同じ行程で、同じ見学地を見て飽きませんかという意味だろうか。しかも幸運なことに、今年は三年修学旅行と二年修学旅行と二度も引率する。

中学時代の修学旅行は、生徒の皆さんにとって一度きりの行事である。その行事に同行して皆さんの満面の笑顔に出逢い、カメラに収める。見学地は同じであっても、私にとっては変化に富んだ至福の三日間。実に気分は、生徒の皆さんと同じなのである。だからコロナ禍の中行った熊本方面一泊の修学旅行をはじめ、修学旅行を大変であると感じたことは一度もない。

11月26日（日）修学旅行出発

また各学年、修学旅行に対する目的やねらいも同じではない。実は出発前、二年生の修学旅行に一抹の不安を感じていた。その不安を漢字一文字で表すならば「時」である。

東大寺大仏殿

二年生は修学旅行の班別行動に向け、６月、「福岡ウォークラリー」に挑戦した。引率した私は、筥崎宮（はこざきぐう）や住吉神社、大濠公園で写真を撮り、一足先にゴール地点の福岡タワーに向かった。なぜなら生徒の皆さんが各方面に散らばっていて、全班の写真をカメラに収めることができず、ゴール地点なら福岡タワーをバックに全班の写真を撮ることができるからだ。しかし…。

忘れもしない。13時50分から福岡タワーでのチェック開始。誰も来ない。生徒の姿も見えない。カメラマンのスタジオえぐちさんもヒマそうにしている。焦った私は、昼食場所の大濠公園から追いあげてくる予定のＫ学年主任に電話した。「まだ、誰も来ません。」すると「大濠公園で楽しみすぎて今そちらに向かっています。」と返答。（裏へ）

奈良パークホテル夕食

そうか。「福岡ウォークラリー」のスローガンの最後の文言が、「楽しもう！ウォークラリー」だったからか。そして私のしおりにはこう記録している。「最終ゴール時刻を5分延長。14時25分、ゴール完了したのが36班中まだ10班。」このまま修学旅行に行けば、きっと新幹線に乗り遅れる。京都から北九州に帰ってこれない。そんな言葉が次々と脳裏に浮かんだ。**【次号に続く】**

「百点満点！」　２年２組　Ｔさん

私たちが初めての取り組みとなった第二学年での修学旅行。そんな修学旅行に向け、去年から行われてきた門司港・福岡ウォークラリー。特に福岡ウォークラリーでは、不安が残る結果となった。先生方もこのままで大丈夫なのかと心配されていたと当日聞いた。しかし帰ってきた時、校長先生から百点満点をいただいた。私の中にあった不安も消えていく感覚がした。

金閣寺

私は修学旅行の中でも、嵐山の竹林が印象に残った。美しい竹林の中、多くの人が行きかう。自然が作り出すこの世の物とは思えない少し暗くすずしげな景色に気をとられ、校長先生を見つけるのに時間がかかってしまった。

この修学旅行では、福岡では味わえない歴史や自然に触れ、クラスメイトとの絆もさらに深まったと思える、実に充実した時間を過ごせた。将来、また京都へ行き、今とは違う感じ方で、もう一度竹林を歩きたい。

嵐山・竹林の小径

「また京都や奈良に行ってみたい」　２年２組　Ｋさん

修学旅行でいろいろ学んだ中でも特に大切でこれからの学校生活に生かしたいことは、時間を守ることと、時間に余裕をもって行動することです。新幹線に乗車、下車する時や、自由行動した時など、時間に余裕を持って行動すれば、荷物をチェックすることもでき、焦ることもなくなるからです。このことは社会に出たときに必須のスキルになるので、今のうちに身に付けようと思います。

また自分が一番印象に残ったのは、金閣寺に行ったことです。天気がよかったということもあって、とても綺麗に金閣寺が見えたからです。金閣寺に金箔が貼ってあり、そのかかった金額をバスガイドさんから聞いてびっくりしたことも印象に残っています。僕はまた京都や奈良に行ってみたいなと思います。

「東大寺大仏の迫力と時間」　２年２組　Ｋさん

私が修学旅行で一番心に残ったのは、東大寺です。東大寺の大仏の迫力がとにかくすごかった。テレビやインターネットで見るより、実際に見た方が大仏のすごさも迫力も感じることができました。更にバスガイドさんの説明もあり、大仏の歴史についても学ぶことができました。大仏の手の形など細かいところにも意味があって、それを考えながら見るのも楽しかったです。

清水寺

また班行動を通して、時間を守ることの大切さと協力することの大切さを学ぶことができました。福岡ウォークラリーで時間を守ることができなかったので、常に五分前行動を心がけていました。そのおかげで新幹線に乗り遅れることもなく、楽しい修学旅行になりました。そして班でもクラスでも、学年でもみんなで協力することで、みんなの絆も深まりました。修学旅行での学びを生かして、三年生に向けて頑張っていきたいです。

「学んだ時間の大切さと感謝」　２年２組　Ｍさん

今回の修学旅行で、時間を守ることの大切さを学びました。私がそれについて気付けたのは、清水寺であった班別行動でのことです。班の人と歩きながら行きたいお店をめぐりました。そこで家族や親せき、友だちへのお土産を買ったり、美味しい食べ物を食べたり、写真をみんなで撮ったり、様々なことをしました。班の人以外にも別の班の人や先生方と合流して一緒に行動もして、たくさんのことをして楽しみました。そこで私たちは、時間をこまめに確認して、残された時間の中で何をするか話し合うことで、とても充実した自由時間を過ごすことができました。

私が前にあった福岡ウォークラリーよりも、より楽しい時間を増やすことができたのは、しっかり時間を守ることができたからだ思います。修学旅行を終えた後も、学校などの日常生活で、今回学んだことを生かして過ごしていきたいと考えています。そして修学旅行でできたたくさんの思い出や、それに関わってくださった人たちへの感謝の気持ちを忘れないよう大切にしていきたいです。